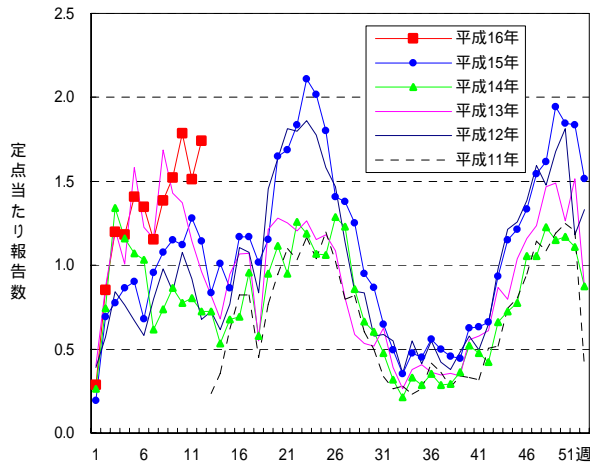
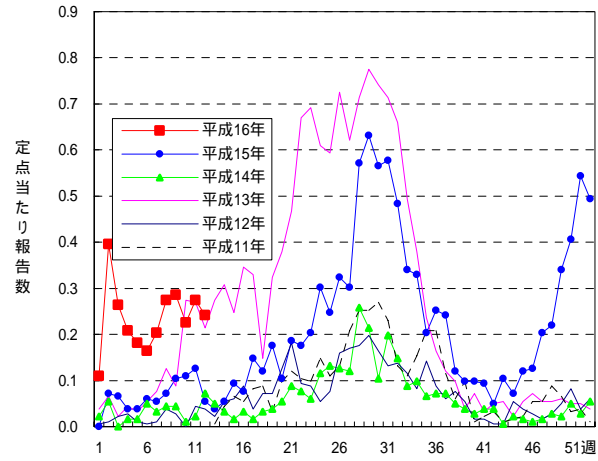


### 流行状況

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



咽頭結膜熱



疾患名	前週	今週	備考
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	7.9 →	7.3 →	細菌あるいはウイルスなどの感染性病原体による嘔吐、下痢症
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	1.5 ↓	1.7 ↑	レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類されるものによる上気道感染症
<a href="#">水痘</a>	1.6 ↓	1.9 ↑	「みずぼうそう」とも呼ばれ、ウイルスが原因で発生する人から人につる感染症
<a href="#">咽頭結膜熱</a>	0.27 ↑	0.24 →	発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症

定点当たり報告数			
↓	減少	→	横ばい
		↑	増加

(関連リンク)

愛知県衛生研究所における平成15年~16年シーズンのインフルエンザの流行予測

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infyosoku.html>)

集団かぜの発生:愛知県のホームページ記者発表資料 (<http://www.pref.aichi.jp/service/kisya/>)

愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

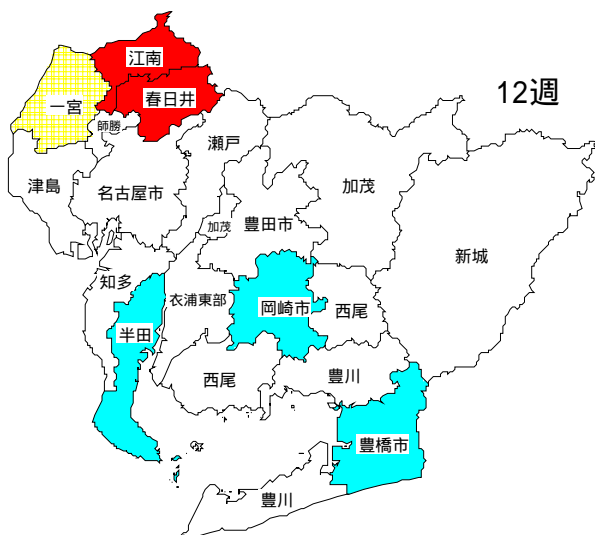
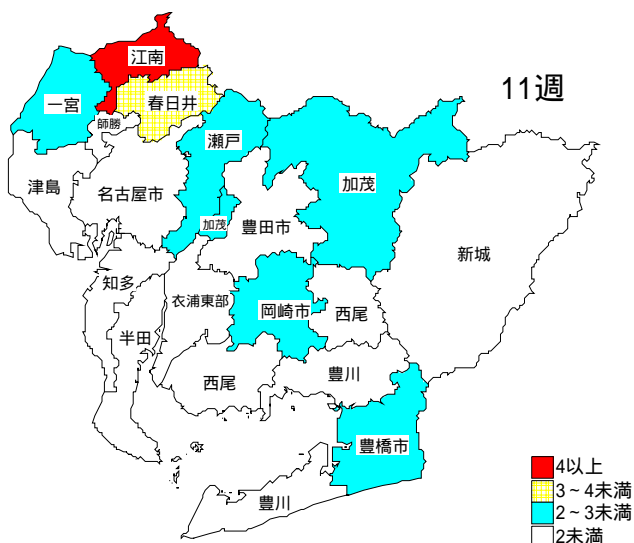
全国状況(感染症発生動向調査週報):厚生労働省感染症研究所感染症情報センター・ホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) をご覧下さい。

(作成)

愛知県感染症情報センター 連絡先:052-910-5619

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)

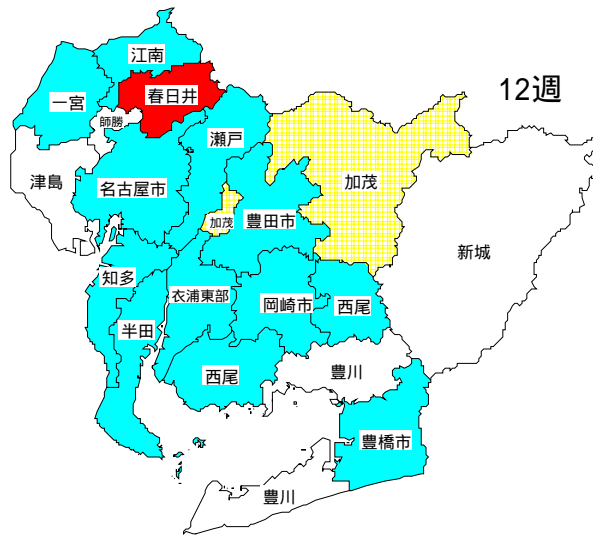
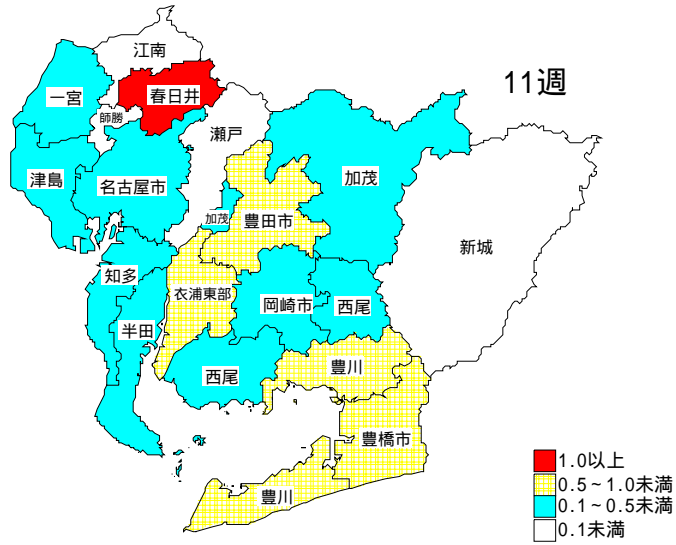


	12週	定点 当たり	11週	定点 当たり		12週	定点 当たり	11週	定点 当たり	
名古屋市	91	1.30	68	0.97	岡崎市	20	2.86	16	2.29	
瀬戸	15	1.67	26	2.89	衣浦東部	17	1.55	17	1.55	
津島	7	1.00	4	0.57	西尾	2	0.40	5	1.00	
師勝	2	0.50	3	0.75	豊田市	10	1.25	8	1.00	
一宮	39	3.25	25	2.08	加茂	3	1.00	8	2.67	
春日井	○	38	4.22	30	3.33	豊橋市	19	2.38	17	2.13
江南	○	27	4.50	28	4.67	豊川	6	0.75	6	0.75
半田		14	2.33	7	1.17	新城	0	0.00	1	0.50
知多		7	1.00	6	0.86					

○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行発生警報は保健所(市)定点当たり4.0人を越えた場合に発生し、2.0人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

# 咽頭結膜熱の保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



	12週	定点 当たり	11週	定点 当たり		12週	定点 当たり	11週	定点 当たり
名古屋市	12	0.17	8	0.11	岡崎市	2	0.29	1	0.14
瀬戸	1	0.11	0	0.00	衣浦東部	4	0.36	6	0.55
津島	0	0.00	1	0.14	西尾	1	0.20	1	0.20
師勝	0	0.00	0	0.00	豊田市	2	0.25	4	0.50
一宮	4	0.33	4	0.33	加茂	2	0.67	1	0.33
春日井	10	1.11	9	1.00	豊橋市	1	0.13	6	0.75
江南	1	0.17	0	0.00	豊川	0	0.00	5	0.63
半田	1	0.17	1	0.17	新城	0	0.00	0	0.00
知多	3	0.43	3	0.43					

○ は今週警報が出ている保健所(市)です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによる咽頭結膜熱の流行発生警報は保健所(市)定点当たり1.0人を越えた場合に発生し、0.1人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

## 定点の先生方からのコメント

### 尾張西部地区

感染性胃腸炎多いです。

溶連菌感染目立ちます。

アデノチェック陽性例 2 例(1 歳女、2 歳女いずれも高熱と咽頭発赤のみ)

ムンプス小流行あり。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

感染性胃腸炎流行中

インフルエンザ 4 例全て A 型で家族内発症

【一宮市 後藤小児科医院】

病原性大腸菌 O8 27 歳女

病原性大腸菌 O18 5 歳男、6 歳男

病原性大腸菌 O25 1 歳男、3 歳女、5 歳男

溶連菌、大人が 3 人もおり、小児も増加しています。

アデノウイルスとロタウイルスも混在した状態にエンテロウイルスと思われる感染症が、39 度以上の発熱で来院することが増えています。

EBウイルスと思われる患者も増えています。

【尾西市 城後小児科】

嘔吐、腹痛、発熱たまに頭痛を主訴とする胃腸炎が幅広い年齢層で流行しています。(40 歳以下)

【犬山市 武内医院】

溶連菌感染症 減少してきました。

感染性胃腸炎の流行が続いています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

感染性胃腸炎、年長者に目立ちます。

溶連菌感染症、前週よりは減少傾向なるも続発中

伝染性紅斑がチラホラ

ムンプス 続発中

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

12 ヵ月、1 歳 3 ヵ月、1 歳 5 ヵ月、3 歳 4 ヵ月男 ロタウイルス(+)

嘔吐下痢を伴った胃腸風邪が多いようです。

【春日町 丹羽医院】

### 尾張東部地区

アデノウイルス胃腸炎、水痘、アデノウイルス感染症(咽頭結膜熱、滲出性扁桃炎)が多くみられます。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

今週は水痘が急増

溶連菌感染症も増加傾向

相変わらず幼児のアデノウイルス感染症多数みられます。

その他、伝染性紅斑、マイコプラズマ感染症等。

【尾張旭市 医療法人誠和会 佐伯小児科医院】

保育園、幼稚園で感染性胃腸炎が流行しています。

【東郷町 ホリバ医院】

---

胃腸かぜ多数

インフルエンザ、ムンプス 少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

溶連菌感染症の4歳女から母親へ家族内感染がありました。

単純ヘルペスで高熱と口唇ヘルペスの例がありました。

【春日井市 かがわ北病院】

ロタ胃腸炎やや少なくなるも、まだある。

インフルエンザ見られなくなる。

アデノ様咽頭炎 少数

【小牧市 小牧市民病院】

EBウイルス感染症が目立ちます。

【小牧市 志水こどもクリニック】

3歳女、1歳女、5歳男 アデノ(+ )の咽頭炎

【美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院】

5歳男 迅速テストにてインフルエンザB型(+ )、4歳男インフルエンザB型(+ )、4歳女インフルエンザB型(+ )

胃腸炎ひきつづき多いです。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

---

## 西三河地区

---

10ヵ月男、1歳男2名、1歳女、2歳女、3歳男2名、3歳女 ラピッドテスト ロタ(+ )

7歳女 StrepA(+ )

5ヵ月男 ディレクティジェンRSV(+ )

6歳男 病原性大腸菌O6

1歳男 エスプラインインフルエンザB(+ )

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

1歳女、3歳女 病原大腸菌O1

1歳男 病原大腸菌O166

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

インフルエンザは全員B型

【岡崎市 花田こどもクリニック】

インフルエンザ A型 3例、B型 1例

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科スズキ医院】

9歳女 カンピロバクター

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

インフルエンザ A型2例、B型3例でした。

【岡崎市 粟屋医院】

アデノ(+ ) 1例

【刈谷市 田和小児科医院】

インフルエンザ A型1人、B型2人

【知立市 宮谷クリニック】

チェックAD 陽性 1名

【西尾市 やすい小児科】

B型インフルエンザ2名 6歳女

【西尾市 山岸クリニック】

11ヵ月 男 病原性大腸菌O1 VT(-)

6歳女 病原性大腸菌O1 VT(-)

1歳男、5歳女、3歳男 麻疹 三兄弟です。全員ワクチン未接種

【幸田町 とみた小児科】

咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、水痘が流行しています。

インフルエンザはほとんどB型です。

【三好町 三好町民病院】

## 東三河地区

幼稚園でインフルエンザB型が流行しています。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

インフルエンザBまだ流行あり(先週比4割減)

【豊橋市 野村小児科】

## 一～三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

腸管出血性大腸菌感染症

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
*	春日井	52	女	3/11	3/11	3/11	O157 VT2(+)	11週分の 追加報告

## 四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

レジオネラ症 1例(65歳)

アメーバ赤痢 1例(推定感染地域:不明)

愛知県衛生研究所企画情報部(文責 磯村)

春休み。駅前広場や駅構内が家族連れやお友達グル - プで賑やかになり(髪は色とりどり、身体やカバンに沢山物をぶらさげて)、いつもなら空いているお昼の電車が混んだりしています。いつも貴重な情報を有難うございます。2月後半から3月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からはインフルエンザは殆どみられなくなり、アデノウイルスと思われる咽頭炎、扁桃炎とロタウイルスを主体とする感染性胃腸炎が多く、これらの重症例やマイコプラズマを含む肺炎の入院が目立ち水痘が比較的多い、第一日赤松山先生からはインフルエンザ12例(2例入院、うち1例はB型)、ロタを含む感染性胃腸炎の入院10例、A群溶連菌感染症の入院4例、水痘7例、城北病院渡辺先生からはインフルエンザもアデノモ(-)の高熱を伴うインフルエンザ様疾患が少し目立ち、アデノ陽性者はやや減少、急性胃腸炎やや多くロタウイルス陽性者少しあり、水痘散発、仮性クル - プも散発、第二日赤岩佐先生からはインフルエンザBが散発、ロタウイルス腸炎は減少、千種区今枝先生からは3月上旬にインフルエンザAが2歳男児と4歳女児にありその後なし、ウイルス性腸炎が再び多発(軽症)、三菱病院入山先生からは感染性胃腸炎8例とかなり目立ちうち数例が入院、インフルエンザは減少し4 - 5例のうちB型が1例、ムンプス2例、マイコプラズマを含む肺炎の入院が約10例、中京病院柴田先生からはあまり流行しているものはないがロタウイルの入院少々、労災病院山田先生からはインフルエンザBがAより多く入院例あり、水痘が多く、溶連菌感染症、ムンプス(入院例あり)、ロタウイルスとRSウイルスは減少(共に入院例あり)、マイコプラズマ減少、胃腸炎の入院目立つ、とのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からはA群溶連菌咽頭炎、ロタを含む感染性胃腸炎がそれぞれ多発中、ムンプス1例、インフルエンザは減少、江南市昭和病院小児科からはA群溶連菌感染症が多く、ロタウイルス性胃腸炎による入院が目立つ、岩倉市永吉先生からはインフルエンザは殆どないがB型が3例あり、溶連菌感染症目立ち、38歳の父親とか母親も罹患、ムンプス続発中、常滑市民病院上田先生からは感染性胃腸炎(ロタウイルス感染による入院が多い)、アデノウイルス感染症(入院目立つ)、ムンプス(髄膜炎の入院例あり)、水痘(重症水痘の入院あり)、溶連菌感染症目立つ、市立半田病院中島先生からはインフルエンザAが減少したがまだ時々あり、感染性胃腸炎(殆どがロタウイルス)が多く入院も目立ち、喘息発作の入院が増加傾向とのお手紙でした。
- 3) 三河地区：加茂病院梶田先生からはロタウイルスが増加、入院も目立ち、アデノウイルスはまだ多く入院例目立つ、インフルエンザBが散発中でRSウイルスは減少、知立市近藤先生からは水痘とムンプスがパラパラ、ロタ下痢症が目立ち、幼児学童の嘔吐下痢症がやや多い、刈谷市田和先生からはムンプスと嘔吐下痢症が目立ち、水痘が時々、手足口病2例(同胞例)、碧南市永井先生からはインフルエンザは散発程度、乳幼児~小学生の嘔吐下痢症が目立ち(ロタも含めて)、アデノウイルス感染症も時々あり、豊橋市宮澤先生からはインフルエンザ、ロタウイルス腸炎など少数、長屋先生からは特に目立つものはなかった、とのお手紙でした。

有難うございました。

**2004年2月27日(79巻9号)**

コレラ。アフリカ(04年2月18日時点)。ブルンジ:03年12月上旬から国内数ヶ所で集団発生。2月10日保健省の発表では236例(死亡6)、WHOチームが調査開始、安全な水供給の問題(塩素消毒検討)。カメルン:保健省の発表では同国中部で514例(死亡13)。WHO、ユニセフ、国境なき医師団(MSF)が対策実施中。マリ:流行継続中。04年初頭から新規患者280例(死亡33)。国内に集団発生地区が散在、対策困難。WHOは欧州機構の助成を得て集団発生対策実施中。モザンビーク:保健省の発表では12月20日以降9,391例(死亡61)。雨期明けで減少。南アフリカ:モザンビークとの国境地帯で179例(死亡5)。ザンビア:首都ルサカ市を中心に流行が続いている。2月9日時点で3,835例(死亡179)。MSFがコレラセンターを中心に治療にあたり、WHOが疫学者、水供給専門家を派遣して調査中。

ニパウイルス:99年にマレーシア・ニパ地区の流行で見つかった新型ウイルス。94年にオーストラリア・ヘンドラ地区の家畜から見つかったヘンドラウイルスと類似。共にパラミクソウイルス。小規模発生の報告が多いが宿主域が広いこと、人に重症感染をおこすことから重要視される。主要宿主はコウモリ。コウモリからブタ、他の家畜や野生動物さらに人に感染。分布は東南アジア～北部オーストラリア。症状は不顕性感染や軽症も多いが発病すれば重症の脳炎(死亡率50%)。治療法やワクチンはない。98秋年～99年春のマレーシアを中心とした集団発生では養豚業者が主として罹患、265例(死亡105)。ブタを大量に処分して発生消失。(注。最近のバングラデシュの発生:次号)。

インフルエンザ:04年～05年のインフルエンザワクチン組成に関する勧告。推薦するワクチン株の組合せ:1)A/ニューカレドニア99/H1N1型、2)A/フィジ-02/H3N2型、3)B/上海02/B型。

2月20日-26日届出。コレラ:ブルンジ、カメルン、マリ、モザンビーク、南アフリカ、トゴ、ザンビア。

**2004年3月5日(79巻10号)**

デング熱。インドネシア保健省の発表:04年1月-2月26日に14,626例(死亡260)、ジャバとスマトラ。3型ウイルス。当局はWHOの支援で蚊対策実施中。

ニパウイルス。バングラデシュ:2月26日、WHOに22例(死亡17)の報告。11例は検査室確認。他の51例について検索中。同国5地区で発生。疫学的、臨床的ガイドライン作成、調査結果が近日中にまとめられる。

世界のインフルエンザ。03年9月-04年1月のまとめ:66ヵ国/地域から報告あり、国別・月別の詳細な一覧表掲載。A(H3)型が多いがアイスランドとウクライナからはA(H1)型、アジア地区からはB型も報告されている。同期にA(H5N1)型が27例、A(H9N2)型が1例報告。

高病原性鳥型インフルエンザ:歴史的展望。1959年のスコットランド(鶏)、63年の英国(七面鳥)の発生以来03年オランダ(鶏)の発生まで21回発生あり、その一覧表。過去の流行の背景の解析と今後の監視が対策立案に重要であることを強調。

インフルエンザ。最近の状況:世界的に発生は散發的。A(H3N2)型が主体。

2月27日-3月4日届出。コレラ:ベニン、カメルン、マラウイ、ニジェール、トゴ、ウガンダ、タンザニア、ジンバブエ。







愛知県感染症情報

2004年第1週～第12週(平成15年12月29日～平成16年3月21日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘*	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎*	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	159	36,739	515	2,797	16,240	4,335	77	724	1,204	16	35	35	17	1,683	7	433	4	3	57	0	0
愛知県 総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	136	28,609	425	2,077	11,034	3,547	67	547	945	14	15	29	17	1,418	4	370	4	3	55	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	23	8,130	90	720	5,206	788	10	177	259	2	20	6		265	3	63			2		
尾張東部	9	9	2	3	1	23	1,785	34	230	554	174	1	40	61	4		2	1	47	1	4			1		
海部津島	7	7	2	2	1		2,029	6	65	1,224	255	2	9	33			2		32		9			20		
尾張中部	4	4	1	1			989		27	495	44	1	8	18					16		2					
尾張西部	16	12	3	4	1	2	2,102	39	216	1,089	366	24	9	102		1		1	76		6	1		1		
尾張北部	9	9	2	3	1	11	2,785	128	251	758	294	6	88	94			3		236		12		2			
	6	6	1	2			1,093	26	268	820	214	3	36	52					47		16					
知多半島	6	6	1	2	1	4	1,052	7	133	412	64	4	31	62					56		1			4		
	7	7	2	2		27	1,686	20	80	1,075	316	2	84	71			2		139	2	7					
西三河南部	11	7	2	2	1	4	1,902	15	205	301	358	1	42	98	2	2	3		141	1	27					
	11	11	2	4	1		3,140	35	182	738	336	7	22	90	1				373		13			2		
	5	5	1	2	1	1	842	7	59	447	130		20	40				4	112		16					
西三河北部	8	8	2	3	1	43	2,794	53	110	1,141	329	8	58	84	7	11	1	2	112		221		1	3		
	3	3		1		1	411	6	31	240	41	2	8	14					5							
東三河南部	12	8	2	4	1	3	3,935	23	145	1,139	296	4	15	76			11	9	14		24	3		15		
	9	8	1	2	1	17	1,914	26	74	582	314	1	76	43		1	5		10		12			9		
東三河北部	2	2			1		150		1	19	16	1	1	7					2							

\* 衣浦東部保健所から11週分(水痘:1件、流行性耳下腺炎:1件)の追加報告あり

愛知県感染症情報

2004年第1週～第12週(平成15年12月29日～平成16年3月21日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘*	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎*	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く。)	成人麻しん
計	136	28,609	425	2,077	11,034	3,547	67	547	945	14	15	29	17	1,418	4	370	4	3	55	0	0
～6ヶ月	55	269	2	7	120	88	3	3	62	5						8					
～12ヶ月	42	598	13	10	697	222	3	14	562	4	1		2	9		4					
0歳																	3				
1歳	26	2,034	64	42	1,736	670	14	21	294		3	12	2	61		19				2	
2歳	5	1,881	74	89	1,165	584	14	38	25		1	3		110		16				3	
3歳	4	2,044	58	195	1,090	591	9	54	2	1		2	1	185		17				4	
4歳		2,450	63	427	1,016	632	6	95		1	1	3	3	277		26				6	
5歳	4	1,651	53	428	843	355	5	116					2	299		20					
6歳		1,257	19	323	578	192	6	80		1			3	160		7					
7歳		1,061	22	201	511	83	2	35					2	92		5					
8歳		937	17	100	368	51	3	33					1	84		2					
9歳		1,039	14	68	315	13	1	20			1	1		52		3					
5歳～9歳																				21	
10歳～14歳		4,235	12	102	728	40	1	25				2	2	48		5		1	10		
15歳～19歳		1,949		9	224	3		1					1	8		4			1		
20歳～			14	76	1,643	23		12		2	8			33			1				
20歳～29歳		2,388													1	42		2	1		
30歳～39歳		2,321													1	102			2		
40歳～49歳		1,023														17			1		
50歳～59歳		600													1	27					
60歳～69歳		439														27			3		
70歳～															1	19					
70歳～79歳		257																	1		
80歳以上		176																			

\* 衣浦東部保健所から11週分(水痘:1件、流行性耳下腺炎:1件)の追加報告あり